３月１２日（木）

待つこと、信頼すること、そして希望をもつことは、複雑にからみあっている。金の糸を縒(よ)り合わせて作った丈夫な鎖のようだ。

中心となる糸は、信頼すること。それが、わたしの子どもたちからの反応として、わたしがもっとも強く求めるものだからだ。

待つことと希望をもつことは、中心の糸を飾り、あなたをわたしにつなぐ鎖を強める働きをする。

わたしから目を離さず、わたしの業(わざ)を待ち望むことは、あなたが心からわたしを信じ頼っていることの証だ。

口では“あなたを信じてお任せします”と言っておきながら不安でいっぱいで、物事を自分の思いどおりにしようとしたら、あなたの言葉はむなしく響く。

希望をもつことは未来志向だ。あなたが天国で受け継ぐものとあなたを結びつける。

といっても、希望がもたらす恩恵は、現在でもあなたは十分に受けている。

あなたはわたしのものだから、ただ待つだけで時間をつぶす

ことはない。

信じて、期待をもって待つことができる。

わたしのほんのかすかな気配ですらも感じとれるように、あなたの“アンテナ”をいつものばしていなさい。

−+:−+−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−+

【新改訳 2017】

ヨハネ 14:1

「あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。

詩篇 27:14

待ち望め【主】を。雄々しくあれ。心を強くせよ。待ち望め【主】を。

ヘブル 6:18

それは、前に置かれている希望を捕らえようとして逃れて来た私たちが、約束と誓いという変わらない二つのものによって、力強い励ましを受けるためです。その二つについて、神が偽ることはあり得ません。

ヘブル 6:19

私たちが持っているこの希望は、安全で確かな、たましいの錨のようなものであり、また幕の内側にまで入って行くものです。

ヘブル 6:20

イエスは、私たちのために先駆けとしてそこに入り、メルキゼデクの例に倣って、とこしえに大祭司となられたのです。